



## 「守・破・離」

生徒指導主任 日下 道太郎

2月になりました。令和6年度も残り2か月です。寒い日が続きますが、各学年、次のステップに向けて取り組んでいることと思います。良い締めくくりに向けて、それぞれ頑張りましょう。

さて、タイトルにある「守(しゅ)破(は)離(り)」という言葉 皆さんは目にしたことはあるでしょうか？これは、芸道における修行の過程を説明するために使われる言葉です。「守」とは師の教えを忠実に守ること、つまり基本の段階です。「破」とは自分で考え工夫すること、つまり自立の段階です。「離」とは独自の新しい世界を確立すること、つまり創造の段階を指しています。

これは、中学校の中でも当てはまるのではないかなと思っています。例えば、一年生で基本的な生活の仕方や考え方を学び、二年生でそれを自分たちで言われなくても実践できるようになり、三年生で身に付けた力を元に応用を聞かせて新たな取組を考えたり、学校行事に自分たちの色が出せるようになったりするといったことです。

または、これは一学期、二学期、三学期というスパンでも当てはめられるのではないのでしょうか。学校生活を送る中で、培った基本的な力を自分たちで使い、それを応用させていく、そのような一年間の流れも、「守破離」に置き換えられるのではと思っています。

三年生は言わずもがな、三学期はこの「離」の時期だと考えます。言われるままやっていたことを、言われずともやるようになり、そして自分の意見や自分の考え方を交えて、自分で生活をコントロールできるようになる。このようなことができるようになれば、次のステップに向けても良い準備になるのではないのでしょうか。

冒頭で述べたように2月になり、三学期も残り2か月ですが、少しでも意識して生活することで自分の生活は変わっていくと思います。まずは頭の中から変えることで、主体的に生活を送れるようにしていきましょう。

### ○子育て理解講座 1月23日(木)

京都府助産師会 助産師 谷口 貴子先生をお招きし、生命の誕生に携わる助産師の立場から『性と生の大切さ』というテーマで、ご講演いただきました。積極的に妊婦体験や赤ちゃん人形を抱っこするなど三年生は熱心に活動しました。



○第41回綴喜青少年主張大会 1月25日(土)

日常生活や学校生活などで感じていること、大人や社会に向けて訴えたいことを発表する機会として開催されました。本校からは、市主張大会に引き続き本2年生の西川 士紋さんが「冷静沈着に相手を慮る議論」について見事な発表をしました。



○百人一首大会 1年生：1月15日(水) 2年生：1月16日(木)

デジタル化が進む世の中。スマホを中心に様々なゲームがありますが、百人一首は別。どんなにテクノロジーが進化しても「かるた」の面白さは「人と人」とでしか味わえないものです。日本古来の文化を大切に。

【1年生】



【2年生】



## ○夏休みの課題入賞者

「思いやりの京都 交通安全川柳」

8月分月間賞「宇治橋も 交通ルールは 平等です」1年 吉田 悠真

9月分月間賞・小中高部門年間大賞「一休寺 わたるべからず 赤信号」2年 三家 拓士

「社会を明るくする運動」作文

優秀作品賞 1年 福田 溜奈

「読書感想文コンクール」

優秀賞「モモ」1年 小西 瑛麻

「第10回うえだ七夕文学賞(俳句)」

教育長賞「紅葉狩り 夕日に輝く 金閣寺」3年 亀谷 尋弥

「わたしのまちの〇と×」

中学生部門金賞 1年 服部 結愛

「青春21文字のメッセージ」

信楽高原鐵道賞「行先の消えかかった定期券に別れを告げる卒業式」3年 熊田 悠人

「第38回感動作文コンクール」

佳作 1年 稲葉 咲月



## ○2月行事予定

○ 6日(木)奈良私学入試

○10日(月)～京阪神私立高校入試 \*3年生給食なし

○11日(火・祝)建国記念の日

○15日(土)きょうと明日へのチャレンジコンテスト

○17日(月)～18日(火)公立高校前期選抜 \*17日(月)3年生給食なし

○18日(火)部活動停止期間～25日(火)

○23日(日)天皇誕生日 ○24日(月)振替休日

○25日(火)1・2年学年末テスト 公立高校前期選抜合格発表 \*全学年給食なし

○26日(水)1・2年学年末テスト

○27日(木)・28日(金)救急救命講座(2年生)

## ○3月行事予定

○ 3日(月)・4日(火)救急救命講習(2年生)

○ 7日(金)公立中期選抜

○12日(水)3年生を送る会

○14日(金)第46回卒業証書授与式

○21日(金)学年集会

○24日(月)修了式

電話対応時間 平日(水曜日以外) 8:00～18:00

水曜日・午前中授業日 8:00～17:00 になっています。